

## 2022年度 学校関係者評価報告書

学校法人森ノ宮医療学園  
森ノ宮医療学園専門学校  
自己点検・評価委員会  
学校関係者評価専門部会委員会

学校法人森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学園専門学校 自己点検・評価委員会 学校関係者評価専門部会委員会は、2021年度自己点検・自己評価報告書に基づき、以下のとおり学校関係者評価を実施いたしました。

### 1. 学校関係者評価専門部会委員（「森ノ宮医療学園専門学校 学校関係者評価に関する自己点検・評価委員会規程施行細則」による選出区分）

- ・鍼灸師または柔道整復師関連団体役員（同施行細則第4条第1項第2号）  
    廣野 敏明 氏（公益社団法人大阪府鍼灸マッサージ師会会長）  
    川口 靖夫 氏（公益社団法人大阪府柔道整復師会副会長）
- ・本校卒業生（同施行細則第4条第1項第3号）  
    赤丸 敏行 氏（森ノ宮医療学園専門学校卒業生）
- ・本校に在籍もしくは卒業した学生の保護者または保証人（同施行細則第4条第1項第4号）  
    浜田 暁 氏（森ノ宮医療学園校友会会長）
- ・高等学校校長または高等学校校長経験者（同施行細則第4条第1項第5号）  
    上條 藤夫 氏（元大阪府立高等学校校長）

### 2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

- 開催日時：2022年11月27日（日）14時00分～15時30分
- 開催場所：森ノ宮医療学園専門学校 理事長室
- 出席委員：廣野敏明（書面参加）、川口靖夫、赤丸敏行、浜田暁、上條藤夫（敬称略）
- 欠席委員：なし
- 陪席者：清水尚道（校長）、松下美穂（教務部長）、由良拓巳（教務課長）、  
    矢納秀司（学務課長）

《基準1 教育理念・目的・育成人材等》評価結果：適切である。

《基準2 学校運営》評価結果：適切である。

- ・現在の2期目の中期計画については順調に進捗しているようだ。
- ・学生募集についてはやや苦戦しているのではないかと。

《基準3 教育活動（鍼灸学科）》評価結果：適切である。

- ・コロナ禍で今までできていたことができなかつたという事も多かつたのではないか。
- ・現在の3年生はコロナ禍と同時に学生生活が始まっているが、なんとか3年間過ごせてきているようだ。
- ・新カリキュラムが完成年度を迎え、2023年度カリキュラムへの足掛かりとなっているのは喜ばしい。
- ・特に実習を充実させているのはよいことだ。
- ・1年時の退学者減にさらに取り組むべきではないか。
- ・知識、技術もちろんだが学生の人間力を向上させることにも期待したい。
- ・開業権があるという事は一人ですべて対応する必要があるという事だ。そのような環境の中で接遇の能力も育まれると思うので、シミュレーション実習のような取り組みは良いと思う。
- ・治療方法のみを効率よく求める学生が増えているが、現場ではそれだけではいけないのではないか。
- ・医療だけではなく社会人一般としての知識も身につけて欲しい。
- ・国家試験の結果については、教員の実感との乖離があれば問題だが、そうでないのであれば良いのではないか。

《基準3 教育活動（柔道整復学科）》評価結果：適切である。

- ・貴校に限った話ではないが、そもそも柔道整復師とはどのような職業であるかを知らない学生が増えている。
- ・附属接骨院の拡充には期待している。
- ・授業で学んだ実技を活かせる環境ができつつあるのではないか。
- ・柔道整復学科においても実習の時間が増えているのは良いと思う。座学へのモチベーションにもつながるのではないか。
- ・特に高校新卒の学生に対して手厚い指導をお願いしたい。
- ・留年がそのまま退学につながる可能性もあるのではないか。

《基準4 教育成果》評価結果：適切である。

《基準5 学生支援》評価結果：適切である。

- ・教育訓練給付制度、あるいは給付型奨学金を活用している学生は恵まれている状況なのだから、頑張ってもらいたい。
- ・カウンセラーの設置は可能な限りお願いしたい。
- ・卒業生の転職相談でも頼ってもらえる学校であってほしい。

《基準6 教育環境》評価結果：適切である。

《基準7 学生の募集と受け入れ》評価結果：適切である。

《基準 8 財務》評価結果：適切である。

《基準 9 法令等の遵守》評価結果：適切である。

《基準 10 社会貢献》評価結果：適切である。

以上